

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月13日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社SJI

コード番号 2315 URL <http://www.sji-inc.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 李 堅

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理本部長 (氏名) 山本 豊

TEL 03-5769-8200

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	10,124	△22.2	150	△75.5	△32	—	△461	—
21年3月期第2四半期	13,006	—	612	—	660	—	347	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△973.96	—
21年3月期第2四半期	724.51	723.22

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	20,875	8,656	30.9	13,591.47
21年3月期	20,499	9,203	35.8	15,496.07

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 6,440百万円 21年3月期 7,343百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	200.00	200.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	200.00	200.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	0.8	1,700	17.9	1,650	32.3	600	—	1,266.17

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 一社 (社名 ) 除外 2社 (社名 株式会社サン・ジャパン、株式会社SJI)

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	498,799株	21年3月期	498,799株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	24,929株	21年3月期	24,929株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	473,870株	21年3月期第2四半期	480,181株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますのでご了承下さい。

## ・ 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大企業における生産や輸出を中心として一部持ち直しの動きがみられたものの、依然として中小企業及び家計をも含めた本格的な景気回復への道筋が見えず、企業における設備投資抑制傾向が顕著で、失業率も高水準に推移し、全体として極めて厳しい状況が継続いたしました。

一方、当社が事業展開する中国経済は、主要輸出先である米欧経済の後退により、中国経済の高成長をけん引してきた輸出が大幅に減少したものの、後半は持ち直しの動きが見られ、また中国政府が推進する大規模なインフラ整備を中核とした景気刺激策の効果もあり、公共投資と個人消費の伸びが、生産の増加につながり、世界に先駆けて経済回復期待が高まっております。

このような状況のもと、当社グループは継続して中国での事業展開に注力すると共に、重複機能の統合による経営の合理化とより迅速かつ機動的な事業展開の実現することを目的として、4月1日に当社の主要事業子会社である株式会社SJアルピーヌと株式会社サン・ジャパンを合併し、更に7月にはその2社を当社に合併して、新生SJIとして効率的な運営体制の構築を行いました。また、並行して役員報酬の削減、新規採用の抑制、雇用調整の実施、その他諸経費の削減等、鋭意固定費の削減を図って参りましたが、日本企業におけるIT投資削減・抑制の傾向は強く、当第2四半期連結累計期間における売上高は10,124百万円（前第2四半期比22.2%減）、営業利益は150百万円（前第2四半期比75.5%減）、経常損失は32百万円（前第2四半期 経常利益660百万円）、四半期純損失は461百万円（前第2四半期 四半期純利益347百万円）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は20,875百万円（前連結会計年度比1.8%増）となりました。これは主に受取手形及び売掛金が437百万円増加したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は12,219百万円（前連結会計年度比8.2%増）となりました。これは主に短期借入金が増加したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は8,656百万円（前連結会計年度比5.9%減）となりました。これは主に四半期純損失の計上などにより利益剰余金が556百万円減少したことなどによるものであります。

## (2) キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ276百万円減少し、4,202百万円になりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は107百万円（前年同四半期は668百万円の減少）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失の計上及び売上債権の増加等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は593百万円（前年同四半期は582百万円の増加）となりました。これは主に預け金の預入れによる支出によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は519百万円（前年同四半期は94百万円の減少）となりました。これは主に長期借入れによる収入があったことによるものであります。

















